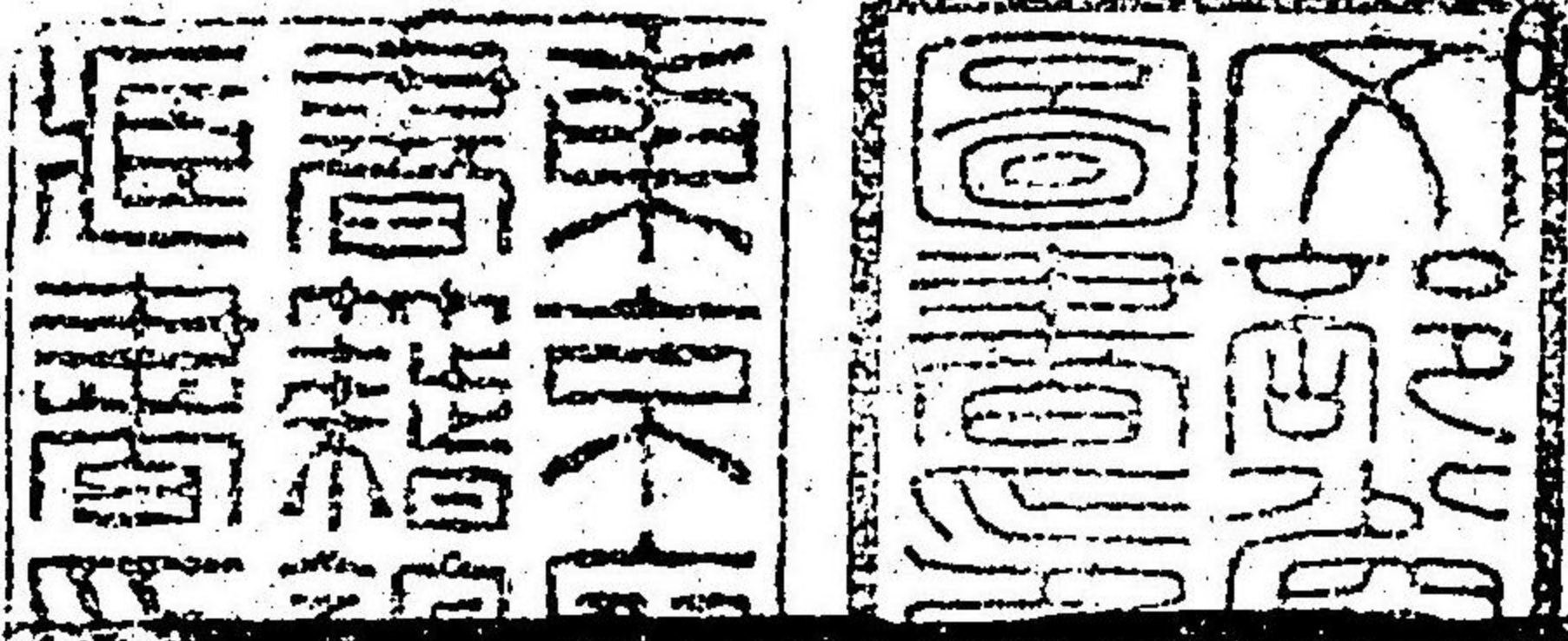


西洋事情

東 京 國 書 館					
一〇	〇〇	五	二		
冊	号	架	函	屬	類

特3 1
670

共十本



西洋事情外編卷之二

政府ノ種類

福澤諭吉 纂輯

政府ノ種類ハ第一立君第二貴族合議第三共和政
 府ト三様ニ其躰裁ヲ異ニスレト事實ニ於テハ明
 其區別ヲ立テ其躰裁ヲ説キ難シ故ニ今此条ニ
 テハ唯政府ノ施ス可キ處置ト隨テ生ス可キ事
 情トヲ論スルノミ
 政府ノ体裁ハ何様タルヲ論セス又其年代ノ新舊
 ニモ拘ハラズ國中ノ人心ヲ得ル所以ハ恩徳ヲ施

スニ在リ徳ヲ以テ人ヲ服スレハ其政府安安ニシ
テ仮令ヒ横逆ノ事件起ルトモ之ヲ和スルヲ得
ヘシ之ニ反シテ政府タルモ一人ノ身ヲ處スル
カ如ク專ラ私ヲ顧テ公明正大ノ趣意ヲ失フキハ
亂臣賊民ヲ罰スルニモ必ス慘刺ニ過ルヲアル可
シ澳地利ノ如キハ其政府ノ躰裁殆ト立君獨裁ニ
似タルモノナレト仁君ノ名アル第二世フランシ
ス帝ノ時代ニハ其政却テ佛蘭西ノ共和政治ヨリ
モ寛大ナリ是即チ政治ノ名實相齟齬スル一例ナ
リ千八百四十八年佛蘭西ノ共和政治ハ國中ノ人

民コレヲ好ム者少クシテ其事情甚ク困難ナリシ
ト云フ
政府ノ自カラ恐怖スルハ必ス刻薄ニシテ狐疑ス
ル所アルカ故ナリ政府ノ安安ナラサルハ必ス恐
怖スル所アルカ故ナリ英國政府ノ安安ナル所以
ハ其政治ノ躰裁ニ由テ然ルニハフランス唯國中ノ
人民ニ好意ヲ抱クモノ多シトノヲ信シテ政府
モ自カラ安スルヲ得ルナリ國中ノ人民ヲ寛大
ニ取扱ヒ衆庶相議スルヲ許ス所以ハ其言行宜
ヲ得テ國ノ制度ヲ害スルモノナキヲ知レハナリ

凡ソ事理至當ノ極ヲ云ヘハ左ノ數言ヲ以テ盡セ
リ即チ政府ハ確實寛大ヲ主トシテ動カス國民ハ
其通義ト職分トヲ知り躬カラ謹慎シテ粗暴ノ舉
動ヲ爲サス惡俗弊風ハ唯政府ノ法ヲ以テ防ク可
キコナリ
治亂極レハコレヲ一變シテ動モスレハ從來ノ政
ニ相及シタル制度ヲ立ルコトアリ是即チ人心ノ自
然ニ向フ所ナリ故ニ暴政ニ束縛セラル、コト久シ
ケレハ其民自由ヲ思ヒ一旦機會ヲ得ルキハ忽チ
亂ヲ起シ或ハ其機ニ乘シテ度ヲ過クルコトアリ千

七百九十二年佛蘭西ノ大亂ハ其一例ナリ此時ニ
當テ佛蘭西國立君獨裁ノ旧政府古來比例ナキ及
亂ノタノニ滅却シテ其後數年ノ間ハ却テ共和治
事ノ大亂ニ陥タリ又國勢四分五裂シテ一定ノ政
府ナク兵亂ノ禍ニ苦ムコト久シケレハ國民又其自
由通義ノ趣意ヲ顧ルニ違アラヌ唯一時ノ生ヲ安
シ産ヲ全センカ爲メニ天下ノ一ニ定ラシコトヲ企望
シ早クマ立君獨裁ノ全權ヲ待テコレヲ尊奉スル
ノ心ヲ生ス是即チ爭亂ノ世ニ報國ノ大義ヲ唱テ
失望スル者アル所以ナリ又事ヲ好ム者時勢ヲ知

ラス妄ニ世態ヲ變革セントシテ一時其志ヲ得ル
トアリト雖氏果シテ永久ノ良策ニ非ラス遂ニハ
復テ苛酷ノ虐政ニ窘メラル、ト必セリ其人ノ産
業ヲ見ルニ昔時ノ安寧ニ及ハサルト遠シ
ルソ良政府ノ一大緊要事ハ其民ヲ無智文盲ニ陷
ル、トナキニ在リ人ニ智識ナケレハ必ス惡事ヲ
為スモノナリヘルシヤ人ノ如キ無智蒙昧ナルカ
故ニ止ヲ得スシテ虐政ノ下ニ立チ君主一人ノ獨
斷ニテ隨意ニ政ヲ施スト雖氏人民コレニ安シテ
常テ怪ム色ナシ文明ノ化ヲ被リ禮義ノ教ニ浴シ

タル歐羅巴人ニ於テハ然ラス已レ文明ニシテ禮
義ヲ知ルカ故ニ其政府モ亦タ己レト共ニ文明ニ
シテ禮義ヲ知ラシトテ需ム政府若シ其趣意ヲ失
スレハ人心忽チ離散ス可シ又衆庶合議ノ風俗ア
ル國ニ於テハ人民各政治ノ職分ヲ達ス可キカ故
ニヨクコレヲ教育セサル可ラス亞米利加ニテハ
國民ノ教育既ニ洽チクシテ政治ノ需用ニ供スル
ニ足レリト云フ可シ其他歐羅巴ノ諸國ニ於テモ
教育ノ法亞米利加ニ劣ラサルモタアルハ早晚其
政治ノ一變ス可キ前兆ナリ

其事柄ニ由テハ平人ニ任スルカ故ニ自カラ政治
ノ一端ヲ學ビ得テ其益少カラスト雖モ佛蘭西、日
耳曼ニ於テハ絶テコレナシ故ニ今佛蘭西、日耳曼
等ニテ俄ニ其政治ノ躰裁ヲ變シ國中一般ノ人ヲ
會シテ政ヲ議スルノ法ヲ立テテバ其人々事ニ慣
レシテ必ス處置ヲ錯ルコトアル可シ之ニ由テ考
レバ立君獨裁ノ政ヲ俄ニ共和政治ニ變セシトス
ルトモ必ス其功ヲ遂ルコト能ハスシテ國ノ不幸ト
ナル可シ抑英國所領ノ亞米利加ニテ共和政府ヲ
建テシハコノ例ニ非ラス亞米利加建國ノ名ハ政

治ノ一變シタルニ似タレ其事實ハ從來英國王ヨ
リ遣差セル名代ノ人ヲ首長ノ位ニ置キ國內ノ事
務ハ國內ノ人ニテ此名代ノ人ト共ニ處置スル風
習ナリシユヘ建國ノ後議事院ヲ設ケ大統領ヲ立
テシト雖レ一躰ノ政治ニ至テハ僅ニ其趣ヲ變シ
タルノミ
兵亂ニ由テ俄ニ政府ノ革マルヲ革命ト云々世ニ
適ル可ヲサルノ禍ナレレ或ハ亦コレニ由テ國ノ
幸トナルコトアリ千六百八十八年英國王第二世「
」ハス國法ヲ破リタルニ由テ内亂ヲ生シ遂ニ其

位ヲ廢シテ政府ヲ一變シタレ今日ニ至ルマテ
英國ノ人コノ革命ヲ悅ハサルモノナシ又昔時佛
蘭西人ノ暴政ニ苦シシ有様ヲ見レハ千七百年代
ノ未_レ其國ノ大ニ亂レタルモ驚ク可キニ非ス又
亞米利加ノ騷亂ハ實ニ一國ノ繁榮ヲ致セシカ故
ニ今ニ至ルマテ其國ノ人意氣揚々トシテ自カラ
既往ノ亂ヲ祝ヤリ右ノ如ク革命ノ兵亂ニ由テハ
或ハ一國ノ幸トナルコトモ亦少ナカラスト雖レ國
内ニ干戈ヲ動カマハ一時ニ其禍ニ罹リ目前ニ災
害ノ生スルコト甚シキカ故ニ思慮アル人ハ前後ヲ

顧テ安ニ其事ニ與スル者少シ國ニ革命ノ亂起レ
ハ從來ノ人ノ慣レシ制度風習ヲ變動シ後來ノ變化
計ル可ラサルカ故ニ工商ノ業地ヲ拂テ衰微シカ
役ノ人ハ活計ヲ失ヒ且平生ヨリ非常ノ用ニ供ス
可キ貯ナケレハ止ムヲ得ラシテ惡事ニ陥リ騷亂
中ニ又一場ノ騷亂ヲ生ス斯ク騷亂ノ持續スル際
ニ當テ世ノ少メニ最モ憂フ可キ一事ハ最初國政
ノ改革ヲ企望セシ者既ニ其望ヲ失ヒ現在ノ兵亂
ニ苦ニ後來ノ難ヲ恐レ遂ニ姑息ノ心ヲ生シテ衰
世ノ時運ヲ挽回ス可キ人物ヲ見レハ怒テ其人ニ

籠絡セラレ一時ノ安妥ヲ買ントシテ人間普通ノ
自由ヲ棄ルコトアリ是レ所謂自由ヲ求テ自由ヲ失
フモノナリ故ニ世人若シ其政府ヲ改革セント欲
セハ劇烈非常ノ術ヲ用ヒズシテ其目的ヲ達ス可
キ路アルキニノミ之ニ從事ス可シ

政治ノ論ハ未タ一科ノ學ト爲ス可キ定法ナキカ
故ニ政府ヲ建ルニ謹慎シテ思慮ヲ盡シ或ハ他ノ
適例ニ倣テ法ヲ定ムト雖モ之ヲ實地ニ施シテ行
ハレサルコト多シ怪ム可キニ非ラサルナリ世ニ盛
善ト稱スル政府ノ事情ハ學者ノ未タ知ラサル所

ニテ紙上ノ論ヲ以テ盡ス可ラス譬ヘハ英國政府
ハ如キ制度整齊ニシテ内外安寧ナルヲ殆ト海内
ニ比類ナレト雖氏議論ヲ以テ其實際ヲ名狀ス可
ラス或ハ其政府自カラ事ヲ行ヒ隨テ又自カラ抑
制スルモノト云テ可ラシカ都テ其實ニ行ハル、
事ハ其外ニ顯ハル、軀裁ニ異ナリ其一ニヲ舉テ
云シニ政府ノ上ニ立ツ者ハ君主ニシテ自カラ獨
權アリ若シ其獨權ヲ恣ニセハ國中ノ害ヲ為ス可
キ筈ナレ氏嘗テ其患ナシ上院ハ下院ヨリ上席ナ
レハ自カラ一種ノ權威アル可キ筈ナレ氏下席ノ

下院ニテ衆議既ニ定レハ上院ニテ長ク之ヲ拒
トナレ下院ノ内ハ尊卑ノ別ナク全ク共和政治ノ
軀裁ナル可キ筈ナレ氏其議事官多クハ名家ノ人
ニテ自カラ貴族合議ノ風アリ抑斯ノ如キ政府ニ
テ斯ノ如キ政ノ行ハル、所以ハ年代時運ニ由テ
一般ノ人心互ニ我意ヲ忍ヒ自然ニ國ノ制度ヲ敬
畏スルノ風俗ニ赴キンカ故ナリ今若シ此政治ヲ
以テ他國ニ施サントスルマ其風俗人心ニ欠典ア
レハ必ス其功ヲ奏スルヲナカル可シ右ノ次第ヲ
以テ之ヲ考レハ各國各人ニテ政ノ是非得失ヲ論

シ各其説ヲ異ニスル所以ノ理ヲモ了解ス可シ
歴史ヲ按スルニ政治ノ沿革ハ時々故障ナキヲ録
ハスト雖氏年代ノ久シキニ從テ次第ニ善ニ赴ク
モノナリ世人德行ヲ脩メ智識ヲ研クノ風俗ニ赴
ケハ自カラ政府ノ威權ヲ制シテ衆庶會議ノ端ヲ
開キ隨テ政府モ亦私曲ヲ行フ少ク漸ク國中一
般ノ便利ヲ公議スルニ至レリ斯ク時勢ノ沿革ス
ルニハ或ハ治ヲ以テシ或ハ亂ヲ以テシ固ヨリ其
然ルヲ計ラスシテ然ルモノ多ク皆遇然ニ出ルト
雖氏古來未タ其進步ノ速ナルモノヲ見エ且又國

中ノ人各一己ノ私徳ヲ修メザレバ仮令衆庶會議
ノ法ヲ設ルトモ一國ノ公政ヲ行フ可ラズ蓋シ國
中ノ人ハ一般公平ノ便利ヲ謀ルノ趣旨ヲ先ツ自
カラ了解シテ然ル後ニ其趣旨ヲ施行ス可キ人物
ヲ撰擧シ之ヲ衆人ノ名代トシテ議政ノ職ニ任セ
サル可ラス是即チ國民ノ職分ナリ
凡ソ人トシテ此國ニ居リ其政府ノ下ニ立テバ自
カラ政府ニ對シテ務ム可キ職分アルノ理ナレ氏
世人未タヨク此理ヲ知ラス或ハ妄ニ政府ノ職分
ノミヲ議論シ己レコレニ對シテ報ス可キ職分ア

ルノ理ハ管テ自カラ顧ルコトナク動マスレハ放盪ニ陥ル者少ナカラズ罪人ト云フ可シ政府ニ過失アレハ之ヲ改正ス可キ方術ヲ熟考シ穩ニ其處置ヲ施サントシテカヲ盡スハ國中ノ人々當務ノ職分ナレド其時勢ニ一利ヲ起シテ一害ヲ生ス可キノ恐アラハ丁寧反覆シテ其利害得失ヲ察シ何等ノ事情アルトモ決シテ輕卒ニ議論ヲ發ス可カラズ

國法及ニ風俗

稍開化ニ進タル國ニ於テハ必ス古風旧例ナルモ

ノアリテ其君主妄慢ノ權ヲ多少ニ抑制ス可シ東洋諸國ニテハ國民ノ種類ヲ分チ一種類毎ニ具リタル權威アリテ各其職業ヲ異ニシ階級モ亦上下ノ別アリコレヲガイストト云フ此風俗ハ往古ヨリノ旧例ニテ今俄ニ之ヲ改メントセハ必ス混乱ヲ生ス可シガイストトハ人種ノ義ニテ東印度ノ猶支那日本ニテ士農ニ專ラ行ハル風俗ナリ商民ノ別アルカ如シ凡ソ世上ニ首長ト配下ト位ヲ別チコノ外ニ階級アレハ其階級ニ隨テ必ス其權アリ奴隸ノ法ハ文明ノ人ニ於テ惡ム所ナレド非常ノ暴政ヲ以テ小弱ノ賣奴ヲ抑壓セント

スレハ其主人ニテ之ヲ保護スルコトアリ是即チ賣
 奴ノ法ヲ以テ人ヲ救フモノナリ
 右ノ如ク人民ノ種類ヲ分ツ風俗ハ蠻野ノ民間ニ
 在テハ或ハ適當ス可キコトモアルベシト雖モ文明
 ノ國ニ於テハ禮義ノ道ト宗旨ノ教トニ由テ巧ニ
 其弊風ヲ除キタリ然リト雖モ又コトニ莽昧夷俗
 ノ太古ヨリ世ニ行ハル、別段ノ風俗アリ此風俗
 ハ歲月ヲ經ルニ從テ當ニ之ヲ棄テサルノミナラ
 ス又隨テ増補改正シ以テ文明開化ノ一大助ト為
 シタルモノナリ今英國ニ於テ盡善盡美ノ制度ト

稱スルモノモ其本ヲ尋レハ往古ノ風俗ヨリ来リ
 シモノ多シ故ニ此風俗ノ沿革ヲ探索スルハ最モ
 大切ナルコトニテ且ツ之ニ由テ考レハ世ノ文明ヲ
 進メントスルニハ學者ノ高論ニ從テ法ヲ造ルヨ
 リ寧ロ莽昧夷俗ノ風ヲ改正スルノ便利ナルニ若
 カストノ理ヲ了解ス可シ
 各國ニテ古来ノ風俗旧例ヲ集メテ一躰トナシ次
 第ニ其形ヲ成シタルモノヲ國法ト名ツク莽昧夷
 俗ノ國ニ於テハ其法不正ニシテ極テ欠典多シト
 雖モ人民コレヲ頼テ尚暴君姦吏ノ慘毒ヲ免カル

可シ譬ヘハ今無法ノ國ニ於テ一農夫アリ遇國ノ諸候ニ向テ禮ヲ失スルヲアラハ其君直ニ之ヲ捕ヘテ躬自カラ無禮ノ罪ヲ罰スルヲ意ノ如クナルヘシト雖氏若シ其國ノ旧例ニテ斯ル訴訟ヲ聽ク可キ裁判ノ場所アラハ其農夫モ必スコノ裁判所ニ出テ、事ノ是非曲直ヲ糾スヲ得ヘシ固ヨリ其敵手ハ威カアル者ナレハ或ハ裁判ノ有司ヲ畏シ或ハ之ニ賄賂ヲ與ヘテ遂ニ農夫ノ曲ヲ構成スルヲモアル可キナレ氏全ク裁判ノ路ナクシテ直ニ暴敵ノ手ニ罹ルニ比スレハ遙ニ優レリ國法下

度ヒ定レハ裁判役並ニ其他有司ノ身ニ於テモ故サテニ之ヲ破ルノ煩シキハ謹テ之ヲ守ルノ便利ナルニ若カズ故ニ國法ノ動カサルハ人ノ天稟ニ懶惰ノ性情アルカ故ナリ
 各國ニテ法ノ形ヲ成スニ至ルマテノ順序ハ甚タ遅トシテ殆ト其起原ヲ知ル可ラス年代ノ間ニハ世ニ人物ノ出テ、法ヲ論スル者アリ即チアテ
 一シノゾロン スバル シノ シコル グ ス 以上二人ハ
 英國ノアルフレット 紀元後八百年 ノ如キ是ナリ世
 人コソ人々ヲ尊ヒ國法ヲ創造セシ始祖ナリトテ

其榮名甚々盛ナリト雖氏實ハ新ニ法ヲ造タルニ
非ラス唯古來ノ法ヲ増補改正シタルノミ又羅馬
ノ歴史ニ云ヘルトアリ羅馬ノ人法令ニ乏シクシ
テ之ヲ傳習セシカ爲希臘^{ギリキ}へ使節ヲ遣シタリト太
古ノ世ニ十二條ト唱ヘシ法ハ即チ此使節ノ希臘
ヨリ學ヒ得タルモノナリトノ説モアレト其詳ナ
ルハ得テ知ル可ラス故ニ高名ナル羅馬ノ法律モ
其整齊ニ至ルマテノ歲月ハ甚々長シ紀元後五百
年ノ頃ニハコノ法律漸ク集リテ其書類ノ浩濶ナ
ルト駱駝十二足ノ背ニ負ハス可シトノ故事アリ

但ニ此時ニハ未タ刊行ノ術ヲ知ラスシテ世人此
律書ヲ見ルト能ハサルモノ多キカ故ニ羅馬帝^{ジウ}
スチニヤニ當時ノ學者ニ命レテ書中ヲ拔萃シ簡
約ナル一全書ヲ纂輯セシメタリト云フ
右ノ次第ヲ以テ考レハ法ノ本ハ太古ノ旧例ヨリ
起リ其由テ來ル所一朝一夕ノニ非ラス殊ニ英
國ノ制度ノ如キハ其詳ナルヲ知ラント欲セハ先
ツ其國ノ古風ヲ探索セサル可ラス學者ノ宜シク
注意ス可キトナリ又歐羅巴ノ歴史ヲ按シテ其中
古ノ形勢ニ着眼スルキハ法ノ本ハ其國ノ習俗ニ

由テ来ル一明白ナリ 紀元五百年ヨリ千三百 年マテヲ中古ト云フ

所謂封建世祿ノ法モ其本ハ北方ノ夷民羅馬ノ一

統ヲ破テ其土地ヲ奪ヒコレヲ配分セシキノ旧例

ナリ 北方ノ夷民トハ歐羅巴北方ノ人ヲ云フ中古

ナリ 世ハ歐羅巴人モ風俗野鄙ニシテ舉動殘忍

夷民ト稱スルナリ 北方ノ人ハ勢ニ乘シテ羅馬

人ヲ放逐シ其時ノ君將タル者土地ヲ押領スレハ

隋ニ又コレヲ其從者ニ配分シテ功ヲ賞レタル一

ナレ氏其從者ノ獨立スルヲ好マズ乃チ約ヲ結テ

君臣ノ分ヲ正シ臣下ノ職分ヲ奉セシメシニ一度

土地ヲ得タルモノハ其地ニ住居シ君上ノ代任々

ル名目ニテ之ヲ子々孫々ニ傳ヘ以テ封建世祿ノ

基トナリシコトナリ

方今歐羅巴ニテ地面ノ法則ハ盡ク往古封建ノ制

ヨリ由来スルモノニテ固ヨリ其殺伐ノ風習ハ脱

シタリト雖氏今日ニ至ルマデ英國ニテモ其制度

ヲ遵奉セリ抑英國ニハ古来一種ノ風俗アリテ其

國法ノ由テ来ル所他國ニ異ナリト雖氏歐羅巴本

州ノ諸國ニテ文明ニ赴キシハ新ニ國法ヲ造タル

ニ非ラス唯羅馬ノ古法ト封建ノ制度トヲ參合シ

テ其衷ヲ折シタルモノナリ 歐羅巴ノ本州トハ英

云フ元來英國ハ島國ナルカ故又佛蘭西ノ騷乱ニ
 ニコレヲ本州ト云フ可ラス
 由テ頓ニ貴族ノ權ヲ壓倒セシク國中ノ人民同時
 ニ封建ノ遺法ヲモ廢却セニテ望ミシニ由リ拿
 破倫ハ時變ノ機ニ乘シテ法令ヲ出シレ旧來ノ風
 俗ヲ一新改革シタリ實ニ佛蘭西ノ如キ大國ニ於
 テ法律ヲ改革シ其事ノ全備シテ迅速ナルハ古來
 未曾有ノ大業ニテ其事跡非常ナルニ似タレ氏當
 時拿破倫モ新ニ法ヲ製シタルニ非ラス數百年來
 佛蘭西ニ行ハル、羅馬ノ古法ヲ折衷シタリシナ
 リ

法ハ古風旧例ニ由テ生スルトノ一ハ前茶一二ノ
 例ヲ以テ了解ス可シ古風旧例ハ其趣ヲ改メ其方
 向ヲ正ス可シト雖氏之ヲ廢スルニ至テハ甚ク難
 シ故ニ一國ノ人望ヲ得テ政ヲ施ス者ノ一大緊要
 事ハ謹テ旧物ヲ改正スルニ在リ安ニ新奇ヲ好ミ
 紙上ノ空論ヲ信シテ其旧ヲ棄ルハ勿卒ノ甚シキ
 モノト云フ可シ英國ノ政府ニテ國民ヲ保護シ其
 自由ヲ得セシムル所以ハ往古ヨリ一國內ノ人心
 ニ浸潤シタル旧習ニ由テ其制度ヲ定メタルカ故
 ナリ佛蘭西ニテ屢其政ヲ改革シ國民ノ自主自由

或ハ財貨平均等ノ一付制度ヲ設ケシトスレバ
志ヲ得テ政府ノ上ニ立ツ者ハ常ニ暴主ナリ蓋シ
佛國ノ風俗ハ暴政ヲ行フニ非ラサレハ下ヲ御シ
難キカ故ニ反令々自由寛大ノ法ヲ設ルトモ國民
ノ習俗ニ適セシテ其法甚々破レ易シ
佛蘭西ニテ國民ノ自由ヲ達セシメントシ屢公明
正大ノ改革ヲ爲シタルトアリト雖モ多年英國ニ
行ハルハ「ハビエール」スモルカスノ法ヲ採用スルコト能
ハスコノ法ノ趣意ハ罪人ヲ捕ヘ或ハ之ヲ獄屋ニ
繋キシキ其本人若クハ他人ニテモ罪ノ次第ヲ不

公平ナリト思ヘハ公然タル裁判ヲ受ントテコレ
ヲ官ニ訴ヘ其罪人ハ關係セル官吏并ニ訴訟ノ相
手ヲモ呼ビ出シテ直ニ事ノ是非曲直ヲ斷シ冤罪
ナレハ固ヨリ之ヲ赦ルシ或ハ又果シテ其罪アレ
ハ罰ヲ蒙ルコトナリ國ニ此法アレハ妄ニ人ヲ捕ヘ
テ獄ニ繋クノ弊少シト雖モ魯西亞、澳地利ノ如キ
ハ決シテ然ラス巍々タル官獄ニ人ヲ禁錮シ數年
ハ久シキヲ經レ氏捨テ、問ハス事實其本人ニ於
テモ何等ノ趣意ヲ以テ獄ニ下リシヤ自カラ之ヲ
了解セサル者多シ

右ノ外方今英國ニテ良法ト稱スルモノハ往古ノ
 旧例ヨリ由テ来ルモノ多シ即チコロチルス・イン
 ケストト稱スルモノハ死人ノ骸ヲ検査シテ其骸
 ニ疵アレハ直ニ其時ノ事情ヲ探索スル法ナリ又
 トライエールバイ・ジューリット稱スルモノハ裁判所ニ
 立合ノ者ヲ呼ビ出タス法ニテ其由来甚タ久シ本編
 英國ノ条第 此法ヲ以テ數百年ノ間人ノ冤罪ヲ救
 九條ニ出ツ 違アラス佛蘭西及々其他ノ國
 ニテモ英國ノ良法ニ倣之ヲ自國ニ試ミシ
 アリト雖モ其國ノ人心ヲ察シテ其風俗ニ參合セ

サレハ嘗テ新法ノ行ハレタルナシ
 諸國ニテ古風旧例ヨリ良法ノ生スルヲ甚多ク就
 中人ノ職分ヲ異ニスルニ從テ黨類ヲ分ツノ風習
 ハ世ノ爲ニ大ニ益アリ其一類ノ内ニハ自カラ一
 種ノ權ヲ具ヘテ政府過分ノ威力ヲ稍抑制シ恰モ
 政府中ニ一ノ小政府ヲ起シタル姿ニテ國民ノ保
 護ヲ爲スト少ナカラズ往古草昧ノ代寺院ノ僧徒
 ニ權威アリシハ其一例ナリ方今ニテモ各都各府
 ニ自カラ一種ノ殊典ヲ具ヘテ政府ノ威力ヲ以テ
 壓倒ス可ラサルモノアリ又ハニヒバリチト云

フアアリコレハ市民會同ノ義ニテ元ト羅馬ノ時
 代ヨリ始リ其後漸ク歐羅巴ノ諸邦ニ流行セリ即
 チ市民ノ業ヲ營ムモノ同心協力シテ法ヲ設ケ專
 ラ之ニ依頼シテ生ヲ安スル所以ナリ故ニ猛惡兇
 暴ノ武士等一個ノ市人ニ向テ之ヲ凌壓スルハ容
 易ナリト雖氏斯ク一般ノ法ヲ以テ相合衆セルカ
 故ニ敢テ害ヲ加ルヲ能ハサリシト云フ
 市都會同ノ商民等ハ此殊典ノ便利ナルヲ知リ種
 ヲニ工夫ヲ運ラシテ之ヲ盛ニセンコトヲ欲シ其市
 都ノ繁昌スルニ從ヒ各政府ヲ建テ城ヲ築キ兵ヲ

養ヒ其長者ハ自カラ貴族ノ躰裁ヲ成シ殊ニ
イヌ伊多利ノヘチナヤザノアノ如キハ最モ盛ナ
リスモノニテ其首長ノ威權ハ殆ト一國王ノ如シ
 斯ノ如ク各處ニ起立セル諸都府ノ内ニ首トシテ
 ハンボルノルベツギブレメンノ三都相互ニ結約シ
 次チ又此約ニ與スルモノ多クシテ遂ニ之ヲハン
 セチツノ同盟又ハ貿易同盟ト稱シ其盛強ナルコ
 萬里ノ波濤ヲ越テ外國ト貿易ヲ行ヒ其貿易ヲ保
 護スルノミナラス屢他國ト戦争シテ之ニ勝チシ
 一アリ此時ニ當テライシ日耳曼ノ西部ニ及ヒ其
 在ル大河ノ名

他大河ノ近傍ニ在ル封建世祿ノ貴族等河ノ畔ニ
 堅固ナル城ヲ築テ通航ノ商船ヲ要シ稅ヲ取ラシ
 トセシコトアリシカトモ貿易同盟ノ兵ヲ以テ其城
 ヲ毀テ其強暴ヲ防テ世人ノ産業ヲ安セシメシト
 云フ
 英國ニテハ幸ニシテ市民會同ノ威權斯ノ如ク強
 盛ナラサリシト雖也國ノ未ヤ開ケサルキニハ自
 カラ其風俗流行シテ人民ノ保護ヲ為スコト少ナカ
 ラサリシトナリ其遺風今日ニ至ルマテ尚存セリ
 ロンドンノ市中ニ「テムブルト」云ヘル靈地アリ國

王コノ靈地ヲ通行スル歟又ハ兵卒ヲ其地内ニ遣
 ルルハ王ヨリ市中ノ總督ヘ其免許ヲ請ハサル可
 ラス是即チ「ロンドン」府ニ具ハル殊典ナリ今日ノ
 時勢ニ至テハ固ヨリ告朔ノ餼羊ニテ唯旧典ヲ記
 念スルノ兒戲ニ屬スルノミト雖也往昔第一世「
 ーレス」王ノ御宇ニ王室ト議事院ト爭論ノ下院
 ノ議事官コノ靈地ニ楯籠テ自カラ保護セシコトア
 リ其後第二世「チャーレス」ハ第一世ノ弟ナリシカ王
 室ノ權ヲ專ラニセント欲シテ市中ニ此殊典アル
 ヲ忌ミ之ヲ廢セントテ大ニ心力ヲ勞セシト云フ

右ノ如ク市民ノ會同處々ニ起リテ自カラ獨立ノ
 躰裁ヲ成シ以テ世上交際ノ基本ヲ開キ天下ノ益
 ヲ為スト少カラズ市民ノ私ニ同盟スルモノハ一
 國ノ費ヲ為サスシテ公事ヲ處置シ毎社毎會各一
 局ノ中心ト為リテ同心戮力以テ國ノ制度ヲ保護
 スルカ故ニ不意ノ騷亂ヲ防クニ足レリ佛蘭西ノ
 如キハ其政權直ニ中心ノ本政府ヨリ出ルカ故ニ
 騷亂ヲ防クニ他ノ方術ナシパリス佛蘭西ノ政府
 一度倒レハ全國共ニ一場ノ戰地ト成ル古來佛蘭
 西ニ其例少カラズ英國ニ於テハ然ラス不羈自由

ノ市民等互ニ同盟シテ各制法ヲ設ケ其法ヲ守テ
 自カラ獨立ノ躰裁ヲ成セルハ實ニ古風傳來ノ賜
 ト云フ可シ

抑古風旧例ヨリ由來シテ一國人民ノ為ニ至大至
 重ノ賜ト稱ス可キモノハ其人民へ自由ヲ許シ生
 産ヲ安シセシムルノ政治ナリ譬へハ我英國ニ行ハ
 ル、議事院ノ如キ是ナリ英國ノ議事院ハ元人ノ
 議論ヲ以テ其法ヲ定メタルニ非ラズ知ラズ識ラ
 ス漸次ニ躰裁ヲ成セシモノニテ其始未タ整齊ニ
 至ラサルノ代ニハ嘗テ威權ナク亦之ニ具ハル殊

典モナカリシナリ方今世間ニ議事院ノ由来ヲ議
論スルモハ甚ク多シ或人云ク議事院ノ根基ハ往
古國中ノ長者政府ノ良法ヲ議スル爲大ニ集會セ
シモノナリト又一説ニ云ク往古世祿ノ臣下王都
ニ入朝シ金ヲ貢スル爲ニ集會スルノ例アリ是即
テ議事院ノ始リナリト其説ノ相異ナルト斯ノ如
シ一ハ國民自由ノ趣旨ニ出シモノト云ヒ一ハ國
法ノ嚴ナルニ由テ起リシモノト云フ然レモ今其
原由ノ如何ハ姑ク捨テ論セス唯國人集會ノ例一
度始リテヨリ日就月將以テ今日ノ盛ニ至リ世界

第一ノ良政府ト成リシヲ知ル可キノミ
方今ノ議事院ヲ其創立ノキニ比スレハ弊裁ノ異
ナルヲ甚ク加之稍歲月ヲ經テ歴史中ニモ初テ議
事院ノトヲ記セル時代ニ至リ其景況ヲ察スルニ
尙今日ノ議事院トハ甚ク相違アリ此時代ニハ上
下兩院ノ別ナク唯今ノ上院アルノミ其後千二百
年代ノ頃下院ノ集會漸ク定リ今日ニ至テハ其權
威却テ上院ノ右ニ出ルト雖モ創立ノキニハ實ニ
微々タルモノニテ有レモ無キカ如シ都テ此時代
ニハ議事院ノ權威甚ク小弱ニシテ固ヨリ國法ヲ

議定スルヲ得ス唯時トシテ國王ニ哀訴歎願ス
ルヲアルノミニテ今ノ如ク毎年常式ノ集會ヲ催
スヲモナシ專ラ權柄ヲ執ルモノハ國王ト執政官
トニテ其議事院ノ者ヲ蔑視スルヲ亦甚シ之ヲ罵
詈シ之ヲ凌辱シ或ハ激論ヲ唱ル者アレハ之ヲ罪
科ニ處セシヨアリ

尔後議事院ノ權次第ニ隆盛シ漸ク獨立ノ勢ヲ以
テ政治議定ノ一大局ト成レリ間或ハ之ヲ倒サン
トセシトモアリシカモ確乎不拔恰モ太古ノ始ヨ
リ存在セシモノ、如クニシテ其殊典ヲ動カス可

ラス斯ク議事院ノ盛ナル原因ヲ按スルニ錢貨ノ
權ヲ掌握セシヨリシテ遂ニ此勢ヲ成シタリト云
フ古來英國王外國ト戦争スル等ノ一ニ由テ錢穀
ノ入用アルハ必ス議事院ニ談シ之ヲ調達スル
ヲ以テ例トセリ議事院ハ此機會ニ乘シテ種々ノ
事件ヲ愁訴シ次第ニ其自由殊典ノ趣意ヲ達セ
トシテ初ハ唯愁訴歎願ナリシモノモ漸ク一國ノ
制度ト成ルニ至レリ元來法律ヲ國中ニ布告スル
モノハ國王ナルカ故ニ王ヨリ下院へ用金ノ談判
アルキハ下院ニ於テハ國民ニ便利ナル法ヲ建白

シ此法ヲ施行シケバ此金ヲ調達ス可シトノ趣ヲ
 約束シテ則チ其法ヲ行ニ随テ用金ノ談判アレハ
 随テ新法ヲ建白シ遂ニハ何等ノ事件ニ拘ハラス
 都テ國中ニ法令ヲ布告スルニハ必ス議事院ノ評
 議ヲ經ルヲ以テ常式ノ例ト為シ若シ然サルモノ
 ハ真ノ國法ニ非ラストセリ
 古格旧式ノ廢ス可ラサルモ亦甚クシ今日ニ至ル
 マテ我英國ノ議事院ニテ法ヲ議定スレハ之ヲ國
 中ニ布告スル者ハ國王ナリ固ヨリ王家ノ許允ハ
 唯禮典ニ供スルノミニテ其有名無實ナルハ萬人

ノ知ル所ナレ其格式ヲ變スルヲ能ハス抑議事
 院ニテ國政ノ實權ヲ掌握セシ趣ハ實ニ不可思議
 ニシテ恰モ人ノ手ヲ執テ之ニ教ヘタルカ如シ議
 事院ニテ新令ヲ建白シ之ヲ施行ヤシト願ハハ
 政府ノ官吏コレヲ採用スレハ或ハ之ヲ布告スル
 ニ當テ初メ建白ヤシ趣意ヲ動モスレハ變革シタ
 ルヲアリ由テ又一法ヲ工夫シ國王ニ建白シテ許
 允ヲ求ムルニハ其趣意ヲ書記シテ動カス可ラヤ
 ルモノトアヤリ故ニ議事院ニテ評議ノ書面ト唱
 ノルモノハ國王ノ手ヨリ布告ス可キ法令ノ書ト

守句ノ際毫モ相異ナルヲナシ
右ノ外種々ノ由縁アリテ下院ノ威力次第ニ増盛
シ今日ニ至ルマテ名ハ三局ノ下席ナレバ實ハ政
府最上ノ權柄ヲ執レリ國ヲ守ルニ兵備ノ必用ナ
ルハ固ヨリ論ヲ俟タス之ヲ支配スル者ハ國王ニ
テ其法宜シク全權獨裁ナル可キカ故ニ此全權ヲ
國王ニ附與スルカ為ムニチアクトト云ヘル條例
ヲ設ケリ然ルニ此條例ハ一年ヲ以テ期限トシ其
期限終レハ則チ又再議シテ一年ノ期ヲ定ムル
恰モ證文ノ書替ヲ為スカ如シ故ニ其期限ノ終

至リ遇議事院ニ異論アリテ此條例ヲ施行スル
ヲ肯セザルハ國中ノ兵卒怒テ武器ヲ棄テ平人
ト為リ其士官ニ服役セザルトモ之ヲ咎ムルモ
ナシ或ハ又士官ノ獨斷ニテ之ヲ罪セントスル
ハ官ニ訴テ裁判ヲ受ルト同等ノ争論ヲ處スル
異ナルト勿カル可シ即チ議事院ノ毎年集會ヲ催
フスモ右ニ云ヘルムニチアクトノ條例ヲ再議ス
ルカ為ナリ
議事院ノ必シモ毎年集會スル所以ハ前條ノ外ニ
又一ノ事情アリ英國政府ニテ海陸軍及ヒ其他ノ

公用ニ金ヲ費スルハ他ノ諸邦ヨリモ遙ニ夥多シト雖氏從來此金ヲ調達スルハ議事院ノ權ニアリ且又國中ニテ金ヲ出ススモノハ國民ナルカ故ニ其名代人タル下院ナレバ金穀ノコトハ專ラ下院ニテ評議ス可キノ理ナリトテ政府ヨリ用金ノ命ヲ下セバ此金ハ何等ノ用ニ供シ其用法ハ如何スルヤト每時常例ノ如ク之ヲ聞知セシガ歲月ヲ經ルノ際ニ又一層ノ權ヲ増シテ錢貨ノ權柄ハ盡ク下院ニテ掌握シ某ノ用ニハ若干ノ金ヲ供シ某ノ事ニハ若干ノ金ヲ用ユ可シト一切出納ノ本ヲ議定

スルニ至レリ右ノ如ク毎年議事院ニテ錢貨出納ノコトヲ議定スルカ故ニ若シ其集會ヲ止レハ國中ヨリ政府ノ費穴ヲ償フモノナカル可シ此即チ議事院ノ年々會合シテ政府ノ執政并ニ諸有司ノ爲ニ便利ヲ達スル所以ナリ政府ノ號令ヲ施行スルニハ其處置神速ヲ貴ヒ須ラク一人ノ手ヨリ出ツ可シ下院ノ如キ衆人會合ノ大局ニテ之ヲ行フハ甚タ不便ナリ故ニ英國ニテ號令ヲ施行スルノ全權ハ國王ト執政トニ任シテ其處置ノ速ナルト立君獨裁ノ政治ニ異ナル

ナシ王室ノ執政ハ施行ノ全權ヲ擅ニスルヲ斯ノ如シト雖氏議事院ニ對シテ其責ニ任スルイモ亦甚ク嚴ナリ萬一執政ニ不良殘酷ノ所業アレハ直ニ之ヲ罰シテ罪ヲ假スコトナシ總テ下院ノ左祖ヲ得サル執政ハ一人タリトモ朝政ニ關ルコトヲ得セシメス上ハ朝廷ヨリ下ハ瑣屑ナル小吏局ニ至ルマテ下院ノ權勢ヲ仰カサル所ナシ譬ハバ収稅又ハ裁判ノ一小吏不良ヲ為スコアリテ議事院ノ人傍ヨリ之ヲ察シ執政ニ向テ其探索ヲ為スルハ必ス之ヲ罰セサルヲ得ス

前條々ニ云ヘル如ク我英國ニテ至善至美ノ政治ヲ以テ國民ノ自由ヲ達セシメシ所以ハ一旦ノ騷亂ニ由テ俄ニ其政ノ躰裁ヲ變シタルニ非ラス唯從來ノ古風旧例ヲ失ハス謹テ之ヲ守リ慎テ之ヲ改正シタルニ由テ來リシモノナリ故ニ政治ヲ處置スルノ要訣ハ心ヲ平ニシ意ヲ安クシ能ク事物ヲ堪忍スルニ在リ今我輩ニテ自由不羈ノ殊典ヲ得タルモ專ラ謹慎ヲ用ヒテ古來ノ政躰ヲ折衷調和シ次第ニ邪ヲ棄テ正ニ歸シタルノミニテ其初ハ敢テ一時ニ全壁ヲ得ントシテ暴舉ヲ企タルニ

非ラス今日英國ノ政治ヲ見テ千五百年間ノ形勢
ヲ及顧スレハ其政躰ノ同異霄壤懸隔スト雖其
實ハ畢竟出藍ノ青ノミ是レニ由テ考レハ一國ノ
人民文明ノ徳化ニ浴シ能ク忍テ事ニ處スレハ輕
舉暴動ナクシテ自然ニ其風習ヲ改メ遂ニハ太平
ノ極ニ至ル可キヲ瞭然タリ實ニ我政治沿革ハ千
歲不朽ノ龜鑑ト云フ可シ

政府ノ職分

政府ノ職分ハ國民ヲ穩ニ治メ國法ヲ固ク守リ外
國ノ交際ヲ保ツノ三箇条ヲ以テ其大綱領トス此

綱領ヲ越テ他ニ行フ可キ事件ト行フ可テサル事
件トニ付キ學者ノ議論一定セス或人ノ説ニ政府
タルモノハ宜シク役夫職人ノ賃銀ヲ極メ遊民ノ
爲ニ職業ヲ求メ物價ヲ定メ貧人ヲ救ヒ其他總テ
平人ノ私事ニ關係シテ其通義ト職分トヲ傍ヨリ
是非ス可シト云ヘリ

前説斯ノ如シト雖其政府ニテ平人ノ通義職分ヲ
是非シ其私事ニ關係セシトスルハ必ス之カ爲
非理非道ヲ行テ人間ノ交際ヲ害スルヲ辯解ヲ俟
タスシテ瞭然タリ加之仮令ヒ國民ノ爲ニ職業ヲ

求メ其活計ヲ得セシムルトモ又隨テ國民ヨリ其
冗費ヲ償ハシノサル可ラス源ナクシテ河アルノ
理ナシ政府何ノ術ヲ以テ金ヲ造ルヤ必ス之ヲ國
中ノ稅額ニ取ル可シ然ハ則チ是ニ取テ彼ニ與フ
ルノミ其處置宜キヲ得ルモノト云フ可ラス
前既ニ論セシ如ク人間交際ノ基本ハ人々躬カラ
其心カヲ勞シ躬カラ其責ニ任スルニ在リ是即チ
人間自然ノ性情ナルカ故ニ若シ外ヨリ來テ此大
義ヲ間然スルモノアレハ必ス其弊害ナキヲ能ハ
ス

故ニ政府タルモノ日夜華々扱ヤトシテ國民ノ動
靜ヲ思慮シ之カ為ニ周旋セントスルハ當ニ其民
ノ煩ヲ爲スノミナラス有害無益過分ノ勞ト云フ
可シヨク世間ノ事情ニ着意セル政府ニ於テハ然
ラス廟堂ノ上ニ立テ國內ノ事務ヲ司ル者ハ僅
數人ニシテ其職掌ハ敢テ民間ノ缺乏ヲ知ラント
スルニモ非ラス亦其缺乏ヲ探索シテ之ニ給セン
トスルニモ非ラス抑人間ニ欠ク可ラサルノ一大
緊要事アリ即チ心身健康ナル者ハ躬カラ思慮シ
躬カラ勞役シ躬カラ衣食ヲ求メ躬カラ居住ヲ供

西清事類外編 卷三
セサル可ラス若シ然ラサルハ則チ生ヲ保ツ
能ハス又妻子アル者ハ一身ヲ保養スルノ外ニ妻
子ノ衣食ヲ給セサル可ラス元來人トシテ其妻子
ヲ養ヒ之ニ衣食ヲ給スルハ故サラニコレヲ勤ル
ニ非ラス即チ人ノ天然ニ出ル至情ニテ猶獨身ノ
片自己ノ保養ヲ為スニ異ナルナシ以上所論ハ
一般ノ大義ナレバ間或ハ此義ニ戾ルナキニ非
ラス或ハ身ヲ懶惰ニ處シテ遂ニ餓死スル者アリ
或ハ躬カラ餓死セサルトモ家族ノ飢寒ヲ捨テ、
顧サル者アリ然レバ是等ハ皆非常ノ事柄ニテ其

例甚々少シ但シ之ヲ處置スルノ法方ハ下ニ論ス
可シ

文明開化次第ニ進メハ世人ノ需用モ亦随テ増加
シ漸ク安居ヲ求メ漸ク美宅ヲ營ミ衣ハ輕暖ヲ欲
シ食ハ精美ヲ好ム是即チ自然ノ人情ナリ斯ノ如
ク衣食住ノ美ヲ好ム者ハ之ヲ得シカ爲ニ其心力
ヲ勞シ又コレヲ造ル者モ他ノ需ニ供セントシテ
其心力ヲ役シ互ニ相勉強シテ世間ノ事務次第ニ
多端ナリ且前條ニモ云ヘル如ク家族ノ交ハ人ノ
至情ニ出ルモノナレハ我一身ニ衣食住ノ美ナラ

シテ欲スレハ其妻子モ共ニ歡樂ヲ享ク可シ故ニ世界人類ノ需用品次第ニ増加スル所以ハ人々其一身ヲ保養スルノ欲ト家族ヲ親受スルノ情アルニ由テ然ラシムルモノナリ人或ハ衣食住ノ美ヲ誤用シテ文化勤エノ賜ヲ穢ス者ナキニ非ラス然リト雖世上一般ノ景況ヲ見ルニ文明ノ功德ハ其弊害ヲ償テ遙ニ餘アリ其實際ヲ知ラント欲セハ諸家ノ著述セル記行ヲ讀テ草昧夷狄ノ風俗ヲ察ス可シ我國ト雖古來事物ノ改革ナクバ其風俗ノ陋ニキク何ソ夷狄ニ異

ナルコトアラン畢竟文明開化ノ目的トスル所ハ棄邪歸正ノ趣意ニテ人ニモ亦自カラ善ヲ為ス可キノ性質アリ若シ然ラスシテ惡ニ陷ルモノハ躬カラ為セル罪ナリ前ノ條々ニ云ヘル所ヲ以テ之ヲ考レハ平人ノ私ニ心カヲ勞シ正路ニ由テ産ヲ營ムモノハ政府ニリ決シテ之ヲ是非スルノ理ナシ是即チ確乎不動ノ定論ナリ故ニ政府タルモノ法ヲ設ケテ下民ノ産業ヲ處置シ或ハ役夫職人ノ給料ヲ定メントスルハ大ナル誤謬ト云フ可シ

千八百四十八年佛國騷亂ノ後其首府パリスニテ職人ヲ仕役スルノ法ヲ設ケントシテ愚ヲ極メタル一奇談アリ于時佛蘭西政府ニテ兵卒ノ衣裳ヲ作ラントシ職人千五百名ヲ雇ヒ其職ノ巧拙ニ拘ハラステ人々へ同様ノ給料ヲ與フルコトニ定メリ其法先ツ衣裳ノ仕立ヲ請負フ一商人ヲ呼出シ若干ノ衣裳ヲ製スルニ何程ノ金ニテ之ヲ請負フ可シヤト其價ヲ聞キ乃チ其商人ニ命セスシテ直ニ政府ニテ職人ヲ雇ヒ其價ヲ一様ニ千五百人ノ者へ分配ス可シト定メタルカ故ニ職人ハ尋常ノ

給料ヲ受ルノミナラス請負人ノ世話料ヲモ共ニ分配スルノ理ナリシガ其衣裳既ニ成リ金ヲ分配スルニ至テ人々ノ受取リシ高ヲ見ルニ甚タ少シ十五百人中ノ拙エニテチ常式ノ職ヲ勤ムレハ其給料尚ホコレヨリ多カル可シトテ大ニ失望シタリシト云フ其故ハ何リヤ事實職人ノ業ヲ怠リタルナリ其理甚タ明ナリ千五百人ノ内ニテ一人勉強スルトモ他ノ千四百九十九人ニテ共ニ勞セサレハ獨リ勞シテ其報ヲ得ス譬へハ一人意ヲ專ラニシテ縫綴シ雜話セス又煙ヲ吹カズ終日着坐シテ

晚ニ至リ他ノ職人ヨリモ一朱犬クノ仕事ヲ多ク
 スト雖其一朱ヲ携テ家ニ歸リ家族妻子ヲ悅ハ
 シムルヲ能ハス空シク之ヲ千五百ニ分ツノミ斯
 ノ如クニテハ誰カ敢テ獨リ勉強スル者アラシヤ
 即チ相共ニ業ヲ怠タリシ所以ナリ
 平人ノ常職ヲ傍ヨリ是非シテ必ス弊害ノ生スル
 ハ前ノ一例ヲ以テ既ニ瞭然タリ故ニ國內事務ノ
 種類ニ由リ上ヨリ法ヲ立テ、其益ナキノミナラ
 ス却テ之カ為ニ政府ノ大害ヲ醸スルアリ
 往昔ヨリ我政府ニテ役夫職人ノ為ヲ謀リ種々ニ

工夫ヲ用ヒタレハ常ニ害アリテ其益ノシ役夫ノ
 賃銀ヲ定ムルノ法ハ唯人ヲ役スル者ノ為ニ利ア
 リテ役夫ノ為ニハ益ナシ且人ヲ役スル者ハ上ニ
 シテ人ニ役セラル、者ハ下ナルカ故ニ上ヨリ正
 當ナリトシテ賃銀ノ法ヲ定ムルトモ多クハ一方
 ノ利ヲ謀テ他ノ不便ヲ顧ミス其實ハ役夫職人ヲ
 奴隸ノ如クニ御シテ之ヲ窘ムルノミ故ニ政府ヨ
 リ役夫仕用ノ法ヲ立ルハ名ハ之ヲ惠ムノ趣意
 ナレハ其實ハ常ニ私曲ヲ交ヘサルナシ
 又或ル時政府ヨリ役夫扶助ノ為トテ一法ヲ設ケ

シニアリシカニ此亦是ニ似テ非ナルモノナリ其
 法英國內ノ人ヲシテ盡ク本國製造ノ布帛ヲ用ヒ
 シメタリ蓋シ之ヲ製スル職人ニ業ヲ得ヒシメ遊
 民ヲ減セントスルノ趣意ナリ然レニ國中ノ人布
 帛製造ノ産業ニ利潤多キヲ見テ一時ニ其本業ヲ
 棄テ先ヲ争テ之ニ赴キ遂ニハ職人ノ數多キニ過
 キ却テ困窮シタリト云フ又一法ヲ建テ自國ノ産
 業ヲ繁昌ナラシメンカ爲外國ニテ製造シタル品
 物ハ一切其輸入ヲ禁シタルヲアリ然レニ此法ハ
 國ヲ富マストナクシテ却テ國ヲ疲弊ヒシムルニ

足レリ貿易富國ノ大道ハ諸人ヲシテ其意ニ任シ
 自由ニ賣買セシムルニ在リ一端ノ目撃ヲ以テ之
 ヲ考レハ國中ノ人ヲ求ルニ必ス一刀匠ノ家ニ
 行テ之ヲ買フハ刀匠ノ利莫太ナルニ似タレニ
 利ヲ占ル者ハ獨リ刀匠ノミナラス他人モ亦同様
 ナルカ故ニ刀匠若シ他ニ行テ物ヲ買ハントスル
 所ハ其價ノ貴キヲ刀ノ價ノ貴キヨリモ尚甚シ斯
 ノ如ク互ニ相高價ヲ貪テ互ニ相損亡ヲ受ケタル
 ノミ或ハ當時非常ニ價ノ廉ナル品物モアリシカ
 ドモ其故ハ唯專賣ノ利ヲ擅ラニセントシテ遇マ

種ノ業ニ走ル者多ク之カ為過分ニ其品物ヲ增加
セシニ由テナリ到底英國ノ役夫職人ハ外國品ノ
輸入ヲ禁スルノ法ニ由リ嘗テ一毫ノ利ヲ得シ
ナク却テ大ニ損亡ヲ受ケタリ
大九政府ノ行フ可ラサルコトニシテ之ヲ行フトモ
其益ナキ箇條ハ左ノ如シ即チ政府ハ國民ニ其活
計ヲ附與ス可ラス、役夫職人ノ力ヲ勞ミテ賃銀ヲ
受ルニ其多寡ヲ定ム可ラス、又其賃銀ヲ受ケテ人
ノ為ニ役スルニ其勞逸ヲ定ム可ラス、衣食等ハ如
キ商賣品ヲ産スルニ其多寡ヲ定ム可ラス、又之ヲ

賣買スルニ其法ヲ定ム可ラス、其價ヲ定ム可ラス
概シテ之ヲ云ハハ政府ハ農工商ノ事ニ關係シテ
傍ヨリ之ヲ是非ス可ラサルモノナリ
抑亦世上ノ事務ニ政府ヨリ關係シテ助ケ成ス可
キ箇條ナキニ非ラス其最モ大切ナルモノハ窮民
ヲ救フニ至當ノ法ヲ設ルコトナリ
窮民ヲ處置スルノ法ニ付テハ古來世人ノ議論甚
ク多シ其大趣意ハ仁惠ヲ施スニ在リト雖モ仁惠ニ
施シテ紀律ナキハ却テ大ニ人ヲ害ス錢ヲ欲ス
ル者ハ錢ヲ與フルハ後ニ其人ヲ懶惰ニ慣レシム

hisotoko-dama

ルノミ元來人トシテ懶惰ノ性アラサルモノナキ
カ故ニカラ勞セスシテ錢ヲ得ルノ道アラバ誰カ
敢テカ役スル者アラン故ニ人ニ施シテ紀律ナキ
者ハ徒ニ金ヲ費シ名ハ慈愛ニ似タレ氏其實ハ人
ヲ殘フナリ其施ヲ受ル者ハ多々益足ルヲ知ラス
カ役シテ得ヘキ給料ヨリモ多キニ至ラサレハ飽
クナシ遂ニ天下ノ良民ヲシテ懶惰ノ風ニ慣レ
シメ甚タシキハ惡事ニ陥ル、トアル可シ
人或ハ少幼ノキヨリ教育ヲ蒙ラス或ハ其身躰強
健ナラス或ハ意外ノ不幸ニ逢ヒ或ハ世上一般ノ

仰

禍災ニ罹ル^トアリ此時ニ當テ躬カラ忍ヒ躬カラ
依頼シテ其難ニ堪ル^ト能ハサル者ハ他ノ扶助ヲ
仰カサル可ラス是即チ窮民ナリ然レ^レ平人ニテ
ハ此窮民ノ景況ヲ探索シテ之ヲ扶助スルノ法ヲ
設ク可キ機會ヲ得ス且又前條ニモ云ヘル如ク人
々ノ意ニ從ヒ安ニ私惠ヲ施サバ却テ世間ノ害ト
成ル可キカ故ニ窮民ヲ惠テ之ヲ扶助スルニハ政
府ニテ其法ヲ設ク國中一般ノ人ヨリ其費ヲ出サ
シメサル可ラス之ヲ救窮ノ法ト名ツク然レ^レ此
法ヲ適宜ニ施行スルハ甚タ難キ^トニテ其處置宜

シキヲ得サレハ有害無益ナルヲアリ身軀強壯ナ
ル者懶惰ニ慣レ何事ヲモ為サズシテ詐テ力役ニ
堪ヘスト稱シ則チ他ノ扶助ヲ受ルヲ得バ是即
チ世上ノ人ヲ促シ其常職ヲ棄テ、窮民ヲラシム
ルニ異ナラス加之老人病者ヲ扶助スルニモ其法
嚴正ナラサレハ必ス弊害ナキヲ能ハス尚ホコレヨ
リ甚シキヲアリ孤子棄兒ヲ養フノ法ヲ設ケテヨ
リ遂ニ天下父母ノ心ヲシテ子ヲ養フノ職分ヲ怠
タラシムルニ至レリ
動モスレハ身軀健康ナル者アリテ貧院ニ來ルカ

故ニ英國ニテハ一法ヲ設ケ其人ヲ力役ニ任用セ
リ之ヲ試カノ法ト名ツク或ハ又仮令ヒ力役スル
トモ院内ニ養ハル、ヲ便利ナリトシ其常職ヲ棄
テ、來ル者モアル可キカ故ニ之ヲ防カレ為院內
ノ力役ハ世間ノ常職ヨリモ其賃錢ヲ少クシ且其
法則アリテ力役スルニ門戸ヲ出タサス衣食住ノ
趣モ專ラ人意ニ適セシメサルヲ趣旨トセリ右ノ
次第ヲ以テ事實身軀ノ強壯ニシテ力役セシト欲
スル者ハ速ニ貧院ヲ去テ人ノ煩ヲナサス且院ヲ
去テ世間ノ常職ニ就ケハ其身ハ不羈獨立ト為リ

テ得ル所ノ賃錢ハ多カシク可シ
 仮令ヒ老年衰朽ノ者ト雖モ安ニ衣食ヲ給シテ紀
 律ヲケレハ恐ル可キ弊害ヲ生ス大凡世間ノ人心
 カラ勞スレハ老後殘年ノ貯ヲ為シ得サルナリシ
 然ルニ今老後ハ必ス他ノ養ヲ受ク可シトノ目的
 ヲ得バ世人皆不虞ニ備預スルノ要務ヲ怠タル可
 シ又人ノ子トシテ活計ヲ勤メ其父母ヲ養フノ有
 様ハ他人ノ目ヨリコレヲ傍觀シテモ快ヨキ程ノ
 ナリ然ルニ今一般ノ法ヲ以テ老人ヲ養ハシ天
 下ノ子弟ヲシテ孝悌ノ道ヲ忘レシムルノ緒トナ

ル可シ加ニ窮民扶助ノ為ニ金ヲ費シ徒ニ狡猾詐
 譎ノ道ヲ開クコトアリ老夫老婦力ヲ勞セスレテ安
 樂ニ衣食ヲ得可キカ故ニ平生ヨリ老後ノ備ヲ為
 サルハ固ヨリ論ヲ俟タス甚シキニ至テハ詐テ
 老衰ト稱シ私ニ二三ノ貧院ニ出入シテ其扶助ヲ
 貪ル者アル可シ昔日ハ此弊甚タ多カリシト云フ
 窮民ヲ扶助スルニ衣食住ノ安樂自在ヲ奪ヒ故サ
 ラニ束縛シテ其意ニ適セシメサルハ其法或ハ刺
 薄ニ似タレモ實ハ然ラス英國ニ於テ窮民ヲ養フ
 ノ法ハ仮令ヒ老年衰朽ノ者ト雖モ家族ニ近ツク

一ヲ許サス數十百人ノ窮民ヲ廣キ一屋内ニ雜居
 セシメテ飲酒ヲ禁シ淫樂ヲ制シ食物ハ良品ナレ
 氏滋味ヲ與ヘス且院内ノ法則アリテ眠食共ニ自
 由ナラシメス世人若シコノ有様ヲ見テ愍然ナリ
 ト思ハ、退テ國中億萬ノ小民ヲ反顧ス可シ病翁
 老婆茅屋ノ内ニ住居シ或ハ昔日ノ貯蓄ヲ以テ自
 カヲ俸シ或ハ孝子慈孫ノ保養ヲ受ケ俯仰心ニ關
 スルコトナク不羈獨立以テ其殘年ヲ終ル者甚ク多
 シ實ニ國內ノ良民ナリ然ルヲ今貧院ニテ力役ノ
 法ヲ廢シ窮民ノ意ニ適シテ之ヲ養ナハ、斯ル良

民モ自カラ其節ヲ變シテ他ノ扶助ヲ仰クノ意ヲ
 生ス可シ是ノ如キハ則チ世間一般ノ冗費ヲ増ス
 ノミナラス故サラニ良民ヲシテ不羈獨立ノ廉耻
 ヲ忘レシムルナリ

右所論ノ如ク救窮ノ法ヲ設ルハ極テ難事ナルカ
 故ニ政府タルモノ、職令ハ一國內ノ人ヲシテ各
 獨立ノ活計ヲ營ミ勉メテ他ニ扶助ヲ仰クコト勿ラ
 シメレカ爲自カラ其風俗ヲ鼓舞シテ之ヲ助ケ成
 スニ在リ方今世ニ行ハル、積金預貯相對扶助等
 ノ諸法小民扶助ノ法詳ナルハ下条ニ設ケタヲ勸勵シテ其施

行ヲ助ルモ即チコノ趣旨ナリ譬へハ積金預所へ
 預ケタル金ハ之ヲ合セテ政府通債ノ高ニ加入シ
 其利息ヲ尋常ノ通債ヨリモ多クシテ餘分ノ割合
 二厘五毛ヲ與へリ譬へハ尋常ノ通債ナレハ其利
 爲ニハ三厘五分五厘ヲ與フルナリ方今英國ニテ積金預所へ預ケ
 タル金高大九三千萬ポントナレバ其利息僅カニ
 二厘五毛ヲ増スト雖氏政府ヨリ出ツル金ハ八萬
 ポントニ近カシ即チ全國ノ人民ニテ窮民ノ爲ニ
 八萬ポントヲ費スナリ

前條ニ記ス所ノ事實ヲ以テ考レハ役夫職人ノ資

財モ之ヲ一ニ合スレハ實ニ莫太ノ金ナリ又國中
 力役ノ輩ヲシテ躬カラ其業ヲ怠ムラシメナハ何
 等ノ國ニ於テ何等ノ税額ヲ収ルトモ其不足ヲ補
 フニ足ラサル可シ是理甚ク明ナリ積金預所ニ預
 ケタル金へ僅カニ二厘五毛ノ割合ヲ與フルハ其
 高既ニ八萬ポントニ上レリ然ハ則チ全國ノ役夫
 ヲ役セスシテ全國ノ冗費ヲ以テ之ヲ養ハントセ
 バ其金高ノ巨大ナルヲ何ヲ以テ之ニ譬ハシ英國
 政府ノ歳入既ニ夥多シト雖氏之ヲ八倍シ之ヲ十
 倍シテ尚其費ヲ償フニ足ラサル可シ英國ノ富豪

其數少ナカラスト雖長盡ク之ヲ没入シテ尚其不足アル可シ
此他更ニヨク熟考スレハ仮令ニ慈悲寛大ノ趣意ニ似タル事件アルトモ政府ニテ一々之ニ關係ス可ラス世人或ハ愛人ノ美名ヲ買ハントシテ慢ニ政府ノ任ヲ責メ彼モ政府ノ職ナリ此モ政府ノ分ナリト云フモノアレバ皆事ノ實際ヲ知ラサル空論ノミ其美名ヲ得ルノ價ハ廉ナリト雖長之ヲ事實ニ施スノ費ハ甚々大ナリ故ニ政府ノ職分ニ欠ク可ラサルノ要訣ハ國內ノ良民ヲ保護シ人々ヲ

シテ義氣ヲ重シ廉節ヲ守リ前後ヲ思慮シテ心カ
ラ勞セシメ勞スレハ從テ其報ヲ得セシムルニ在
リ但シ國民ノ保護ヲ為ス_ト斯ノ如クナル所以ハ
法律ト裁判局トヲ以テ之ヲ維持スレハナリ
又國民各、躬カラ業ヲ修メ其家産ヲ増加スルニ於
テ他ヨリ之ヲ妨クルモノアラハ法ヲ以テ其妨ヲ
除クモ政府ノ職分ナリ國中ノ人民官府ノ法ヲ頼
テ其生命ヲ安シ其私財ヲ保ツヲ得バ力役ヲ以テ
賃錢ヲ取り商賣ニ由テ利潤ヲ得ルトモ他ヨリ之
ヲ妨クルノ理ナシ

収税ノ法ハ宜シク寛ニシテ偏頗ナキヲ趣旨トス
 但シ人生ニ必用ナラスシテ淫樂奢侈ニ属スル品
 物ハ苛税ヲ収テ妨ナシ譬ヘハ酒、糊ノ如キ是ナリ
 此等ノ品物ヲ用ユル人ハ自カラ求テ税ヲ出タスモ
 ノト云フ可シ英國ニ於テハ蒸餅、肉類、衣類ノ如キ
 生活ニ必用ノ品物ニハ其税ヲ取ラス實ニ萬國ニ
 對シテ誇ル可キ美事ナリ唯遺憾ナルハ國內ノ人
 多クハ分頭税木編卷之二第ヲ出タスヲ好マハ之カ
 爲止ヲ得スシテ茶、砂糖、コソヒノ税ヲ取レリ實ハ
 此品物モ人間ニ必用ナルモノナリ

又政府ニテ行フ可キ事件ハ人民教育ノ大本ヲ固
 クスルコトナリ此箇條ハ最モ重大ノ事ナルカ故ニ
 其條目ヲ別ニシテ詳カニ議論ス可シ其他國內ニ
 書庫ヲ設ケ、本草園ヲ開キ、博物館ヲ建、遊園ヲ築ク
 等ノコトハ人民ヲ開化スルノ一大助ナルカ故ニ政
 府ヨリ其施行ヲ助ケサル可ラス其法或ハ富人ノ
 私ニ財ヲ散シテ之ヲ設ルモノアリ或ハ官府ヨリ
 之ヲ建ルモノアリ何レモ皆廣ク國人ニ恩ヲ施ス
 ノ趣意ナリ國ニ是等ノ場所アレハ自カラ人心ヲ
 導テ放僻邪侈ノ風ヲ除キ惡業ニ陥入ル者少シ行

テ其場所ニ逍遙スレハ人ノ健康ヲ助ケ行テ其實
 物ヲ觀レハ人ノ智識ヲ博クス職人役夫人如キハ
 多クハ估計ニ逐ハレテ旅行シ山ニ登ルノ機會ヲ
 得サレハ地球ノ土性ヲ目撃スルニ縁ナシ故ニ博
 物館ニ行キ化石ノ類ヲ見テ平生研究セシ書中ノ
 說ニ參考スルハ疑團忽チ氷解シテ其人ニ益ア
 ルヲ舉テ云フ可ラスオールド・レット・サンドスト
 ト名クル地皮ノ中ヨリ掘出タセル巨骨ノ古怪ナ
 ルモノヲ見レハ嘗テ人ノ言ニ聞キシ前世界ノ有
 様ヲモ現ニ想像スルヲ得ヘシ右ノ如ク其場所ニ

行キ其物ヲ觀テ人ノ智識ヲ博クスルノミナテス
 斯ク巨萬ノ財ヲ費シ珍品奇物ヲ集メテ自由ニ人
 ニ示スハ富豪ノ賜ニテ貧人ト雖氏之ヲ見ルヲ
 得レハ即チ其富ヲ與ニスルノ姿ザルカ故ニ自カ
 ラ満足シテ他ヲ羨ムノ惡念ヲ絶ツ可シ
 又政府ノ關係ス可キ一事アリ即チ都下一般ニ養
 生ノ法ヲ立ルヲナリ人戸稠密ニシテ不潔ナル都
 府ニハ動モスレハ疫熱コレラ等ノ如キ傳染ノ病
 流行シテ大ニ人ヲ害スルヲアリ都下ニ法則ヲ設
 クテ街道居家等ヲ清潔ニスレハ此災害ヲ除キ能

ハサルモ大ニ流行ノ勢ヲ殺ク可シ故ニ嚴法ヲ以テ人ヲ制シ其疎忽簡慢ヲ禁止スルハ或ハ殘酷ニ似タル氏實ハ其人モ共ニ病災ヲ免カレシメントスルノ趣旨ナリ四達ノ街道ニ車ヲ驅テ人ノ群集ヲ妨クルハ既ニ國法ノ禁スル所ニテ之ヲ犯スモノハ必ス其罰アリ故ニ此法ヲ推シテ考フレハ塵芥ヲ一處ニ捨テ、堆クスル者モ罪ニ處シテ可ナリ其故ハ塵芥ノ不潔ヨリ傳染病ヲ起シテ人ヲ害スルモ車ヲ群集ノ中ニ驅テ人ヲ害スルモ其罪輕重ノ別ナケレハナリ

學問上ノ發明ニ由テ新工夫ヲ成スモ其工夫ヲ施行スルニ當テ世間一般ヲ一家ノ如ク爲サ、レハ不便利ナルヲアリ瓦斯燈ノ發明アラサリシ以前ハ毎戸唯油蠟燭ヲ用ヒテ夜光ヲ取り其用法人々ノ意ニ從テ便利ヲ達シタリシカ瓦斯ノ發明世ニ行ハレテヨリ之ヲ以テ家業トスル者ハ社中ヲ結ビ一局ノ仕掛ヲ以テ千萬ノ家ヲ照ラシ世間ノ便利ヲ爲シタリ然レ氏斯ル商業ヲ一社中ノ手ニ引受ルハ獨リ壟斷ヲ私シテ非常ノ利ヲ貪ルノ弊ナキニ非ラス此弊ヲ防シカ爲別ニ社中ヲ立テ、

共ニ其商業ノ盛衰ヲ競ハシメントスルノ説モア
レ氏瓦斯ニ於テハ此法ヲ施シ難シ元來瓦斯ノ仕
掛ハ一局ノ製造所ト一條ノ管トヲ以テ周子ク全
市中ニ及ホスモノナルカ故ニ若シ其商業ヲ競ヒ
別ニ社中ヲ結テ同一ノ街道ニ二三ノ管ヲ埋メシ
トセバ徒ニ天物ヲ暴殄スルノミナラス其冗費モ
亦夥多シクシテ必ス事實ニ行ハレサル可シ是即
チ止ヲ得スシテ瓦斯ノ商業ヲ一社中ニ任スル所
以ナリ故ニ此社中ヲ御スルニハ至當ノ法律ヲ立
テ、專賣ノ權ヲ制セサル可ラス或人ノ説ニ瓦斯

燈ノ仕掛ハ都下ノ人民一般ノ所有ト爲シテ特ニ
利ヲ得ル者ナカラシムルニ若クハナシト云ヘリ
此説妥當ナルニ似タリ
市中ニ水ヲ導クノ法モ瓦斯ノ如ク一條ノ仕掛ヲ
以テ足レリ水ヲ給スルノ冗費ハ市中ノ小民ヨリ
取ル可ラス水ハ人ノ身軀ヲ健康ニシ汚穢ヲ洗フ
ニ欠ク可ラサルノ需用品ナルカ故ニ容易ニ之ヲ
得ヘキ方便ヲ設レハ人ノ力ヲ省クニ甚ク大ナリ
貧窮ナル役夫ノ如キハ遠方ニ行テ水ヲ汲ムニ暇
ナクレハ常ニ之ヲ惜テ朝夕ノ用ニ供スルニ甚ク

少量ナリ近來ハ水道ノ仕掛ヲ改正シテ次第ニ其
便利ヲ増シ窮民ト雖レ饒カニ之ヲ用ヒ價モ亦甚
少廉ナリ家産中等ノ市民ヘハ稍其價ヲ高クスレ
ル一日ニ半^トニ^スハ^ハ我^ノ割合ヲ以テ幾許
ノ水ヲ用ユルトモ妨ナシ右ノ次第ヲ以テ官ヨリ
法ヲ立テ市中ノ人民上下貴賤ノ別ナク至當ノ價
ヲ以テ水ヲ用ヒ之ヲ妨ルモノナキヤ否ヲ検査ス
ルハ政府ノ職分ナリ又一方ヨリ論スレハ斯ク汲
水ニ便ナリト雖レ之ヲ用ユルニ謹慎シテ妄ニ費
サ、ルハ亦市民ノ職分ナリ

市民ヲ鎮撫シテ不意ノ危害ヲ防ク爲市中取締ノ
法ヲ設ルモ政府ノ公務ナリ取締ノ法則ハ其箇條
ニ由リ或ハ人ノ自由ヲ妨ルニ似タルモノナキニ
非ラスト雖レ其處置宜シキヲ得レハ世間一般ノ
爲ニ裨益タルヲ甚々大ナルカ故ニ僅カニ其自由
ヲ失ハシムルトモ之ヲ意トスルニ足ラス又拂蘭
西ノ如ク取締ノ權ヲ政府ノ一手ニ掌握スルハ宜
シカラサルニ似タリ政府ニテ其權ヲ執リ盛ニ之
ヲ施行スルハ動モスレハ取締ノ趣旨ヲ失ヒ之
ヲ誤用シテ政治上ノ策略ヲ助クルノ弊ヲ生ス我

英國ニ於テハ然ラス取締ノ權ヲ半ハ其土地ノ官
 吏ニ委任シテ公事ヲ處置セシム即チ口ナルマジ
 ストレイト^トボリス、コムミツヨ^ルノ如キ是ナリ本
 ニテ云ヘハ名主^{庄屋ノ類ニ權威アリ}戸町内又ハ一村ノ事ヲ取捌クカ如シ
 酒店ヲ開クニ法則ヲ以テ之ヲ免許スルモ前條取
 締ノ趣意ナリ飲酒ハ人間ノ一大惡事ナレ法ヲ
 以テ之ヲ禁セントスルハ朝夕人ノ家事私用ニ
 關係シテ其際限ナク遂ニハ世上ノ物論沸騰シテ
 大害ヲ生シ其法ノ行ハレサルコト必セリ然レ人
 ノ常ニ遊宴スル場所ハヨク取調ヘテ其法則ヲ立

テ人物宜シカラサル者ニハ其家ノ主人タルコトヲ
 許サ、ル可シ此法ハ酒店ノミナラス常ニ人ハ集
 マル芝居等ニ於テモ同様タル可キコトナリ
 御者、使人^{足等}ニモ一般ニ其法則アリ幾町ノ道ヲ
 幾許ノ賃錢ニテ車ヲ御ス可シト定メタルハ御者
 ノ商業ヲ妨ルニ似タレ^モ其實ハ之ヲ強ヒテ然ラ
 シムルニ非ラス御者ノ業ヲ始ルキハ必ス世間ニ
 布告シ幾許ノ割合ニテ人ヲ其車ニ乘ス可シトノ
 趣ヲ約束スルノ例ナルカ故ニ法則ヲ以テ其割合
 ヲ増減セシメサルハ即チ自カラ爲セル約束ヲ守

ラシムルノ趣旨ナリ然レド御者ニハ惡習アリテ
或ハ賃錢ノ割合ヲ知ラサル人ニ逢ヒ或ハ急用
ル人ヲ見レハ格外ノ賃錢ヲ貪ルト間コレナキニ
非シス
市中ノ家ヲ建ルニモ亦法則ナカル可ラス各人ノ
随意ニ家ヲ建テシメナハ甲ハ右方ニ面シ乙ハ左
方ヲ背ニシ之カ爲市中ノ街道西轉東曲シテ條理
ヲ乱タル可シ斯ノ如クシテハ往來ノ人路ヲ求ム
ルニ不便ナルノミナラス急病ノハ醫ヲ招カント
スルモ其家ヲ求メ得ス或ハ盜賊ヲ捕ヘントシテ

探索ニ不便ナル等ノ患アル可シ右等ノ故ヲ以テ
市中ノ家ヲ建ルニハ一町ノ端ヨリ端ニ至ルマテ
各屋ノ軒ヲ一直線ニ揃ヘテ見通シヲ妨ルコト勿ラ
シメリ
都下ノ家毎ニ番号ヲ附シ版籍ヲ以テ人別ヲ紀シ
シ芝居酒店等ノ如キ遊宴ノ場所ニハ取締ノ法ヲ
設ケテ之ヲ監察シ馬車ヲ御シテ渡世スル者ハハ
印鑑ヲ與ヘ番号ヲ正シクシテ其取締ヲ爲シ市場
ノ法則ヲ建テ火事消防ノ備ヲ設ル等世間ノ事務
甚タ多シ固ヨリ是類ノ箇條ハ前段ニモ其一二ヲ

論セシ如ク政府ノ職分ニ於テ稍此末ニ屬スルモノトハ雖氏ヨク之ヲ處置スレハ都府ノ形勢ヲ改良スルニ其裨益甚大ナリ

右ノ如ク政府ニテ許多ノ法則ヲ設クレ氏其及ホス所何レヲ以テ分限トシ何レニ至テ止ム可キヤ之ヲ定ムルヲ甚ク難シ然レハ一般ニ此法則ノ世ニ益アル所以ヲ知ラント欲セハ二百年前ノロンドン府ヲ及顧ス可シ當時其廣サ今ノマンチタースト^ルガラシゴリヨリモ大ナラス往来ノ道ニ未タ敷^キ石ナルモノモナク且掃除ノ法ハ不行届ニテ泥濘

塵芥是ヲ下スニ所ナシ府内ニ稍繁華ナル處ハ僅カニ一二町ニテ其餘ハ皆狹隘ナル陋巷ノ家ヲ建ルニ紀律ナク往来ノ形ハ灣々曲々殆ト網ノ如シ且町ノ名モ一町毎ニ分明ナラズ家ニモ番号ナキカ故ニ市中ノ人互ニ他家ヲ求メンルニモ嘗テ其處ヲ記憶スルニ非ラサレハ之ヲ探ル可キ方便ナシ市中ノ商家ハ其商業ヲ明カニ人ニ示サンカ為巨大ナル看板ヲ高ク掲ケテ殆ト道ノ巾ヲ横キリ時トシテハ其看板地ニ落チテ往来ノ人ヲ打殺セシトアリ乱雜モ亦極ルト云フ可シ加フ

ルニ當時道路ヲ照ラスノ法ナク日没シテ乃チ暗
黒トナリ人毎ニ燭ヲ携ヘサレハ戶外ニ出可カラ
ス往昔ノ形勢斯ノ如シユレヲ今日ノロンドンニ
比較シナハ雲壤懸隔モ壹ナラス其故ハ何ツヤ他
ナシ法則ハ然ラシムル所ナリ
旅行ノ法則モ亦嚴ナラサル可ラス昔日ハ旅行ス
ル者皆馬ニ乗り徐々ニ往來シテ人ヲ害セシナ
キカ故ニ其法則ヲ設ルニモ及ハサリシナレモ蒸
氣車ノ發明世ニ行ハレテ其駛行殊ニ迅速ナルニ
就テハ世間ニ又一難事ヲ生セリ蒸氣車ノ未タ世

ニ行ハレサル以前ハロンドンヨリエジンボルフ
ス^{ロンドン}ノ都府ナリ^{ロンドン}マテ旅行スルニ
十四日ヲ費ヤセシガ今蒸氣車ニ乘レハ十二時ノ
間ニ達シ其便利モ亦極ルト云フベシ然レモ蒸氣
車ヲ御スルニ謹慎ヲ加ヘスシテ其御法ヲ失スル
キハ動モスレハ恐ル可キ危害ヲ起ス^トアリ然ル
ニ今其處置ヲ鐵路會社ノ意ニ任シテ事ヲ為サシ
メナバ會社ノ者ハ利ヲ重シテ人ノ生命ヲ輕^クシ
自カラ其御法ヲ謹ム^ト勿カル可シ故ニ此弊害ハ
國ノ法度ヲ以テ防カザル可ラス

以上所記ノ件々ハ政府ノ法ヲ以テ之ヲ定メ國民ニ益アルモノナリ或ハ法ヲ以テ之ヲ定ムルモ却テ世上ノ不便タルヲアラハ速カニ政府ノ關係ヲ脱シテ國民ノ隨意ニ之ヲ行ハシム可シ政府ニテ國民ノ爲ニ勉テ事ヲ爲スノ弊ハ懈テ事ヲ爲サルノ害ニ異ナラス過猶不及ノ理ナリ唯良政府ニシテヨク其中庸ヲ執リ永ク幸福ヲ享ク可シ今英國政府ノ如キハ中庸ヲ得ルモノト云テ可ナリ

積金預貯セイイキホウ此仕組ハ小民役徒ノ錢ヲ預リ利ニ利ヲ附ケテ蓄財セシムル法ナリ相

對扶助ノ法ノ如ク專ラ病老ノ爲ニ設ケタルモノニハ非ラサレ氏小民保護ノ爲ニハ最上ノ良法ト云フ可シ役徒職人等ハ遇餘分ノ錢アルモ之ヲ預ケテ慥カニ利息ヲ取り又入用ノハ容易ニ其元金ヲ取返ヘス可キ場所ナキカ故ニ蓄財ノ方便甚々難シ尋常ノ兩替坐ニハ十ポントトノ業ヲ勉ルトモ一時ニ十ポントノ大金ヲ得ルノ理ナシ或ハ又日ニ積ミ月ニ蓄ヘテ其高ヲ集メントスルモ遠ク企テ及ノ可キニ非ラス唯望

洋ノ思ヲ爲スノミ固ヨリ些少ノ日雇賃ヲ以テ
百般ノ家事ニ供スルヲナレハ仮令ヒ意ヲ決シ
テ畜積ニ志スモ事實其辛苦ニ堪ヘサル可シ右
ノ次第ヲ以テ遇役徒ノ畜フル錢ニハ常ニ利息
ヲ生スルヲナク且之ヲ藏ハルニモ堅固ナル櫃
ナクシテ動モスレハ人ニ盜マルハ一モアレハ
人々望ヲ失ヒ我活計ハ今日アリテ明日ナシト
テ遂ニハ畜財ノ念ヲ絶ツニ至ル或ハ又千辛萬
苦シテ畜ヘタル金ヲ高利ノ為ニ欺カレテ疑ハ
シキ人物ヘ貸シ家産ヲ一掃シテ失フ者モ亦少

ナカラス○以上所記ノ弊害ヲ除キ貧人ノ心ヲ
一新シテ前後ヲ思慮シ節儉ヲ守ラシムルニハ
積金ノ預所ヲ建テ些少ノ錢タリトモ慥カニ預
リテ利息ヲ興フルノ法ヲ設クルニ若クハナシ
預所ノ法一度ニ行ハルレハ人皆金ヲ處置スル
ノ便利ヲ知リ我貯フル所ノモノハ必ス我私有
トナリテ其利息ヲモ取ル可キノ確證ヲ得ルカ
故ニ一錢タリトモ無益ノ遊樂ニ費サムシテ務
メテ之ヲ貯ヘ謹テ之ヲ積ム可シ大凡人トシテ
不羈獨立ノ活計ヲ好マサルモノナシ今爰ニ自

カヲ以テ財ヲ貯フ可キ方便ヲ得ハ誰カ之ヲ勉
メサルモノアラシキ

英國ニテ第四世^{ジョージ}ノ世^{千八百二十年ヨ}
定メタル積金預所ノ法ハ一年ノ利息百^{ポンド}
ニ付三^{ポンド}ト十^{ポンド}スヨリ多カラス一年ノ間
ニ一人ニテ三十^{ポンド}トヨリ多ク預ル^ルヲ許サ
ス斯ノ如ク年々ニ預ケテ其高百五十^{ポンド}ニ
至レハコレヲ極度ノ分限トシテコノ分限ヨリ
多ク預ル^ルヲ許シマ又其金ヲ預所ヨリ取返ス
ル元利ノ勘定ヲ為シテ二百^{ポンド}トノ餘ニ上レ

ハ其餘分ハ高ニハ利息ヲ拂フコトナシ

爾後處々ノ預所ニテ不正ノ事アリシニ付キ千
八百六十一年議事院ノ評議ニテ政府ノ飛脚場
内ニ積金ノ預所ヲ設ケコレヲ^ポリス^ト・オ^フ・シ
セ^イ・ウ^ヰ・ン^グ・ス^{・バ}・レ^クト名ケリ爰ニ金ヲ預ル者
ヘハ一年二分五厘ノ割合ヲ以テ利息ヲ與ヘ出
納ノ法最モ簡便ヲ極メリ千八百六十三年ノ末
ニ至テハ此一箇所ニテ預カリシ積金ノ高三百
五十萬^{ポンド}トニ上リシト云フ
右ノ如ク政府ヨリ正シク法ヲ立テシ預所ノ外

ニ 近來ハ又處々ノ都邑ニテ其場所ノ評議ニ從
 ヒ 一文預所ト唱ルモノヲ設ケタリ即チ字義ノ
 如ク夜令ヒ一文タリトモ預カルトノ趣意ニテ
 積金ノ最モ些細ナルモノナレバ其集リタル惣
 高ニ至テハ動モスレハ驚ク可キ程ノ大金ヲ見
 ルコアリ
 相對扶助ノ法ブレンドリッサイゴ ○人々ノ隨
 意ニ會社ヲ結ヒ平生ヨリ積金ヲ備ヘ置キテ其
 社中ニ病人又ハ不幸ニ逢フ者アルハ積金ヲ
 以テ之ヲ扶助スル法ナリ此法ハ往古商人ノ組

合ニテ互ニ不時ノ難ヲ救ヒシ遺風ナリト云フ
 人ノ年齢三十四五歳ニ至ルマテノ間ハ疾病モ
 少ナクシテ事ヲ為ス可キ時ナレハ此時ニ當テ
 活計ニ餘ル錢ヲ月ニ貯ヘ年ニ積テ不時ノ病難
 ニ備ヘ或ハ老後ニ至リテ安樂ニ其残年ヲ終ル
 可レトノ趣旨ナルカ故ニ天下ノ良法コノ右ニ
 出ツルモノナカル可シ人トシテ自カラ信スル
 一甚シキニ過キ獨歩孤立シテ事ヲ成サント欲
 スルハ動モスレハ意外ノ不幸ニ逢フ者少ナ
 カラス是亦人間ニ避ク可ラサルシ難ナリ今コ

ノ不虞ニ備預ヒンニハ平生ヨリ他人ニ與ミシ
 テ同心協力互ニ相依リ小金ヲ棄テ、大難ヲ救
 フニ若クハナシ
 英國ニテ相對扶助ノ法ノ行ハレシハ千七百九
 十三年ヲ其始トス爾後政府ノ法令ニ從ヒ其處
 置漸ク齊整スト雖氏間或ハ失錯ナキニ非ラス
 其最甚シキモノハ積金ノ内ヲ以テ病老ノ扶助
 ヲ與フルニ其高ヲ過分ニ多ク定メタルヲナリ
 抑此社中創立ノ際ハ固ヨリ壯年ノ人ノミニテ
 疾病ノ患モ少ク社中ノ元金積ニ増加セシニ付

遇不幸ニ罹ルモノアレハ過分ニ扶助金ヲ與ヘ
 シカ年月ヲ經ルニ從テ其事情大ニ變シ病者老
 人ノ數次第ニ多ク扶助ノ金高次第ニ増シ之カ
 為元金ノ入ヲ以テ出ヲ償フヲ能ハス甚シキハ
 一社中ノ仕組全ク破潰シテ殘餘ノ遺人ハ平生
 依頼セシ所ノ積金ヲ盡ク失ヒシヲアリ右ノ次
 第ヲ以テ輓近ハ相對扶助ノ法ヲ直ニ政府ノ支
 配ニ屬シ國法ヲ以テ之ヲ處置シテ舊弊ヲ一新
 シタリト云フ

西洋事情外編卷之二終

西洋事情外編卷之二終

西洋事情外編卷之二

